

有害プランクトン情報 (平成 30 年度 - No. 2)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月 1 回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合 5 月 第 1 回 内湾 (8 地点) 5/11 内房 (6 地点) 5/11
- 5 月 第 2 回 内湾 (8 地点) 5/22 内房 (7 地点) 5/21
- 貝類漁場内 九十九里 5/10 千葉北部 5/10,18,24,28 木更津北部 5/6,15,21,29
- 木更津南部 5/7,14,22,30 富津 5/8,16,21,28

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属、シュードシャットネラ属、カレニア属は確認されませんでした。
- ヘテロシグマ属の最大密度は 5/24 に貝類漁場内の一部で 0.10 細胞/mL でした。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下、pH8.5 以上、酸素飽和度 150%以上) は確認されませんでした。
- ※ シャットネラ属プランクトンは 1 細胞/mL, ヘテロシグマ属プランクトンは 1000 細胞/mL, カレニア属プランクトンは 100 細胞/mL の密度を超えた場合に注意報を発行します。

【貝毒プランクトンの出現状況】

- 麻痺性貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンの最大密度はディノフィシス アキュミナータが 5/22 に羽田沖で今年度最大の 19.35 細胞/mL、ディノフィシス カウダータが同日同所で 0.05 細胞/mL、ディノフィシス ロンダータが 5/21,22 に船橋・羽田沖・大貫で 0.10 細胞/mL でした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

- 5/11 内湾 珪藻 ダクチリオソレン属(図 1)
- 内房 珪藻 ダクチリオソレン属、リゾソレニア属
- 5/22 内湾 珪藻 ダクチリオソレン属
- スケルトネマ属 (図 2)
- 5/21 内房 珪藻 キートセロス属、ダクチリオソレン属



図 1 ダクチリオソレン属
(5/11 羽田沖)



図 2 スケルトネマ属
(5/22 船橋、赤枅内)

